

中小企業

とっとり

2025
November

No.814

11

令和7年11月1日発行

調査 令和7年度鳥取県中小企業労働事情実態調査結果

特別寄稿 「AI革命時代のジブン改革のススメ」

岩田中小企業診断士事務所 所長 岩田 広幸 氏

この人と語る 鳥取太平線通り商店街振興組合 理事長 石上 晋一 氏



©鳥取県「鳥取藩主池田家墓所」

Contents

調査	2
中央会	5
特別寄稿	6
この人と語る	7
ちいき組合情報	8
鳥取県の中小企業景況	10
INFORMATION	13
中央会の動き	15

価格適正化・賃上げ相談窓口を開設中

**連携による地域課題解決と
革新による持続的な成長発展**



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>



HP



FB

令和7年度鳥取県中小企業労働事情実態調査結果

経営上の障害、

「人材不足（質の不足）」がトップ、

約5割が価格転嫁を実現

本会では、県内の労働事情を把握するため、7月1日を調査時点として、任意抽出した従業員規模300人未満の600事業所を対象に、郵送及びインターネット調査を実施した。1年前と比べた経営状況、原材料費等増加に対する価格転嫁状況、労働時間、新規・中途採用状況、賃金改定状況等のほか、今年度はさらに価格転嫁の中でも原材料費分、利益確保分、人件費分といった項目別に行っている取組等についても新たに調査し、回答率は53.1%であった。調査結果の概要は次のとおり。

経営について

▼1年前と比べた経営状況

「良い」18.3%、「変わらない」48.9%、「悪い」32.8%で、「悪い」は前年調査と比べ6.8ポイント減少した。

▼主要事業の今後の方針

「現状維持」59.4%、「強化拡大」34.2%、「縮小・廃止」5.8%、「強化拡大」は前年調査と比べ3.4ポイント減少した。

▼経営上の障害

「人材不足（質の不足）」48.9%、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」47.6%、「労働力不足（量の不足）」35.5%、「人件費の増大」は前年調査と比べ0.4ポイント増加した。（図表1）

▼経営上の強み

「顧客への納品・サービスの速さ」30.8%、「製品の品質・精度の高さ」28.2%、「製品・サービスの独自性」24.6%であった。

新 原材料費、人件費増加に対する価格転嫁状況について

▼販売・受注価格への転嫁状況

「価格の引上げ（転嫁）を実現した」51.3%が最も高く、前年調査と比べ2.8ポイント増加した。

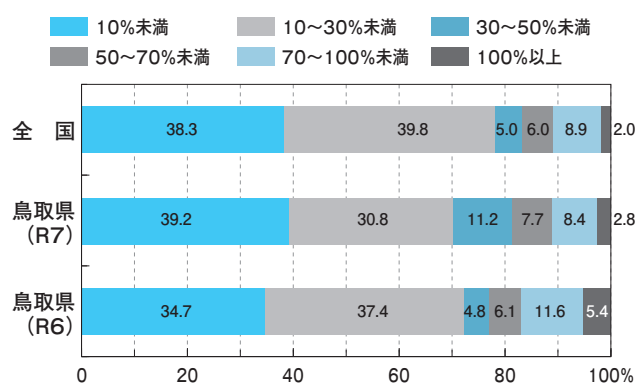
▼価格転嫁率

「10%未満」39.2%が最も高く、「50%未満」とした事業所の割合の合計は81.2%であった。（図表2）

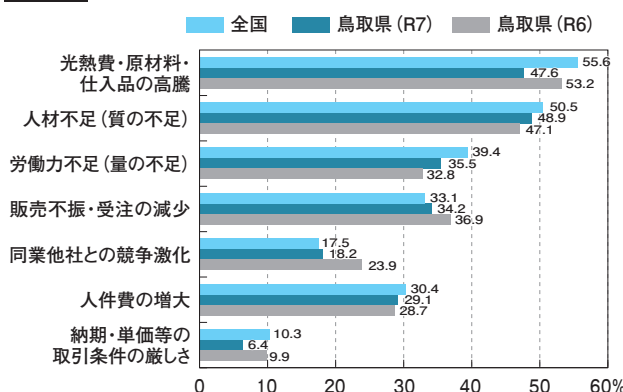
▼価格転嫁予定の内容

「原材料費分の転嫁を行う予定」

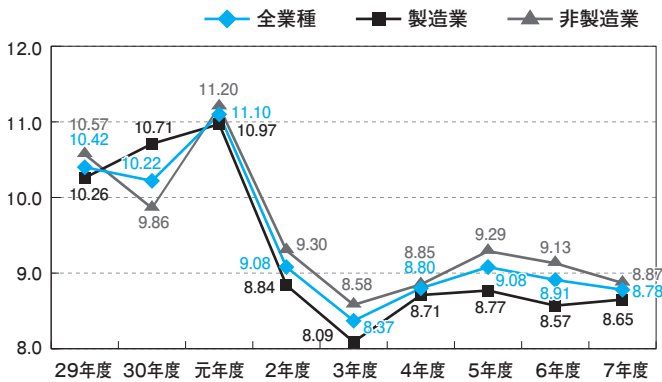
図表2 価格転嫁率



図表1 経営上の障害



図表3 月平均残業時間の推移

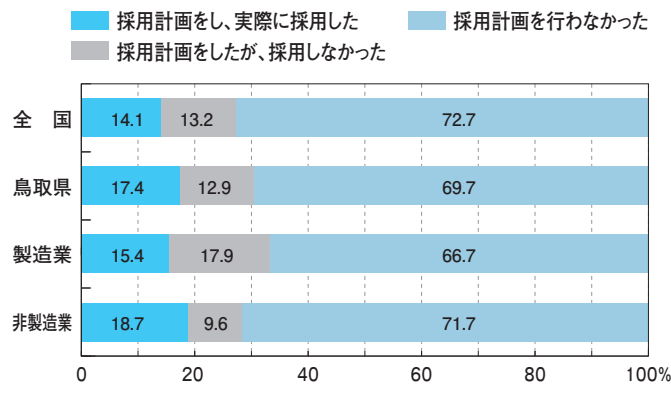


図表4 年次有給休暇の平均付与日数・平均取得日数・平均取得率

		平均付与日数	平均取得日数	平均取得率
全 国		16.37日 (16.18日)	10.00日 (9.87日)	64.15% (63.98%)
鳥 取 県		16.80日 (16.50日)	10.26日 (9.79日)	62.59% (62.51%)
業種別	製 造 業	17.23日 (16.63日)	11.47日 (10.58日)	66.72% (65.81%)
	非製造業	16.52日 (16.42日)	9.46日 (9.25日)	59.87% (60.28%)

※()は前年調査の数値

図表5 新規学卒者の採用計画



63.9%、「人件費引上げ分の転嫁を行う予定」57.4%、「利益確保分の転嫁を行う予定」14.8%、「人件費引上げ分の転嫁を行う予定」は前年調査と比べ23.2ポイント増加した。

▼原材料費分の転嫁率状況

「10%未満」39.1%、「10%未満」31.6%、「70%未満」12.0%であった。

▼人件費分の転嫁率状況

「10%未満」56.4%、「10%未満」22.6%、「70%未満」6.0%であった。

8%であった。

▼利益確保分の転嫁率状況

「10%未満」65.9%、「10%未満」14.6%、「70%未満」6.5%であった。

労働時間について

▼週所定労働時間

従業員1人当たりの週所定労働時間は「40時間」が45.8%で最も高く、40時間以下の合計は全体の92.6%であった。

▼月平均残業時間

令和6年の従業員1人あたりの月平均残業時間の有無は、「残業あり」75.4%、従業員1人当たりの月平均残業時間は8.78時間で、前年調査8.91時間を0.13時間下回った。(図表3)

年次有給休暇について

有給休暇の平均付与日数、平均取得日数、平均取得率

令和6年の年次有給休暇の平均付与

与日数は16.80日、平均取得日数は10.26日、平均取得率は62.59%であった。(図表4)

従業員の雇用について

▼従業員の雇用形態

回答事業所の従業員数11,639人における雇用形態は、「正社員」73.1%、「パートタイマー」15.5%、「嘱託・契約社員、その他」9.8%、「派遣」1.7%であった。

▼常用労働者数

常用労働者数は10,728人で、1事業所当たり平均34.2人、前年調査と比べ0.6人減少した。男女比率は、男性62.2%、女性37.8%であった。

パートタイマーについて

▼パートタイマー比率

パートタイマーを雇用している事業所は57.6%、1事業所平均14.34人であった。

従業員の採用について

▼新規学卒者の採用計画

「採用計画をし、実際に採用した」

17.4%、「採用計画をしたが、採用しなかった」12.9%、「採用計画を行わなかった」69.7%であった。(図表5)

▼新規学卒者の採用状況

採用者数128人、うち「高校卒」は52.3%と、前年調査と比べ7.9ポイント増加した。

▼新規学卒者の採用充足率

「大学卒」の「事務系」57.1%が最も高かった。

▼中途採用者の採用募集

「採用募集をし、実際に採用した」56.0%、「採用募集をしたが、採用しなかった」11.0%、「採用募集を行わなかった」33.0%であった。

▼中途採用者の年齢層

「25歳未満」26.7%、「35～44歳」22.4%、「25～34歳」21.8%であった。(図表6)

賃金について

▼賃金改定の実施状況

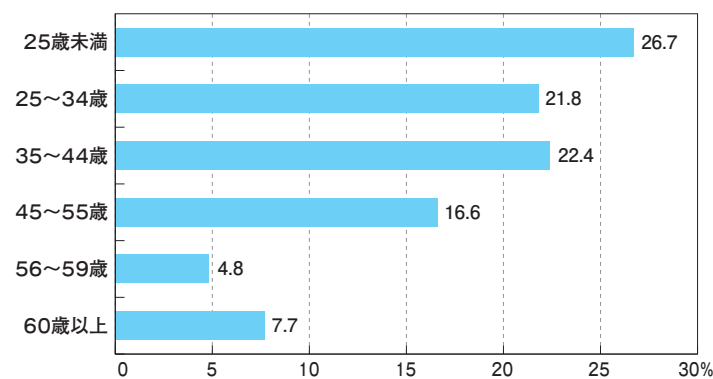
賃金改定の実施(令和7年1月1日から令和7年7月1日まで)は、「改定(引上げ)」55.4%、「7月以降引上げ予定」15.3%、「改定(引下げ)」0.3%、「7月以降引下げ予定」0.7%で

あった。「改定(引上げ)」、「7月以降引上げ予定」の合計70.7%は前年調査と比べ3.3ポイント減少した。

▼平均昇給額・昇給率

賃金改定(引上げ・引下げ)を行った事業所の平均昇給額9,112円、昇給率3.66%、前年調査と比べ平均昇給額は718円、昇給率は0.08ポイント増加した。(図表7、図表8)

図表6 中途採用を行った従業員の年齢層



図表7 平均昇給額・昇給率(加重平均)

		賃金(円)		昇給額 (円)	昇給率 (%)	
		改定前	改定後			
全 国	R7	272,148	282,456	10,308	3.79	
	R6	261,899	271,699	9,800	3.74	
鳥 取 県	R7	248,711	257,823	9,112	3.66	
	R6	234,714	243,108	8,394	3.58	
業 種 別	製造業	R7	235,017	243,019	8,002	3.40
		R6	217,888	225,096	7,208	3.31
	非製造業	R7	259,084	269,036	9,952	3.84
		R6	246,190	255,393	9,203	3.74

※加重平均は、各事業所の1人当たりの昇給額に対象者総数を乗じた総和を対象者総数の総和で除した数値。

▼賃金改定の内容

「定期昇給」59.0%、「ベースアップ」33.5%、「基本給の引上げ(定期昇給制度のない事業所)」28.0%であった。

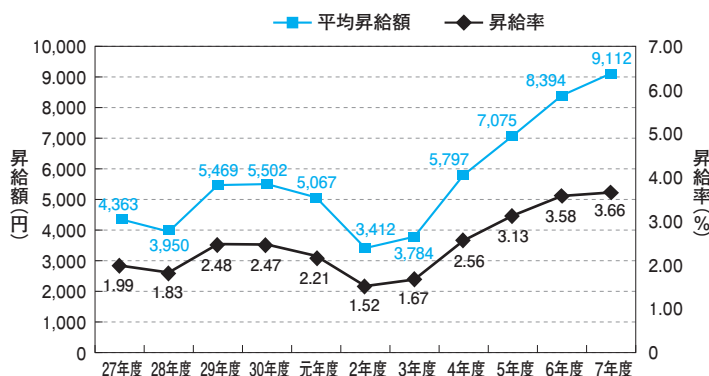
▼賃金改定の決定要素

「労働力の確保・定着」61.8%、「企業の業績」46.2%、「物価の動向」44.7%であった。「企業の業績」は前年調査と比べ8.2ポイント減少した。

▼新規学卒者の初任給

令和7年3月新規学卒者1人当たりの平均初任給額は、「大学卒・技術系」222,948円、「短大卒(含高専)・技術系」201,142円、「短大卒(含高専)・事務系」197,327円であった。

図表8 平均昇給額・昇給率の推移



「誰」に「いつ」承継するか

事業承継セミナー開催

本会は、10月7日、鳥取市「ホテルモナーク鳥取」及びオンラインで事業承継セミナーを開催した。

講師には久保公認会計士事務所・代表・久保道晴氏を招き、「事業の発展と持続のための事業承継」事業計画と人材育成をテーマとして、事業承継のポイントや企業の現状分析、事業計画のポイントや事業承継の方法などについて説明を受けた。

セミナーでは、事業の維持・発展のためには、「誰」に「いつ」承継するかを明確化にすることが重要であり、後継者の選定や事業計画の策定、将来ビジョンを明確化していくことで承継に繋がると示唆を受け、参加者から

も「とても参考となった」「個別でより細かい内容も聞きたい」など意見があった。

本事業では、個別に現状分析から事業承継計画策定、PDC A構築まで実践的な演習を行うワークショップを、11月27日、鳥取市「鳥取市文化センター」、12月4日、5日、米子市「国際ファミリープラザ」で実施する。

(組織支援部 上根)



セミナーの様子

祝鳥取市長表彰

10月1日、鳥取市制施行136周年記念式典が行われ、本会より次の方が鳥取市長表彰の栄に浴ぎました。

《鳥取市政功労表彰(産業功労)》

本会理事 鳥取県東部地区生コンクリート協同組合理事長



高橋 哲夫氏

中央会共済制度

地区別運営委員会開催

本会では、中央会共済の一層の推進を図ることを目的に共済制度地区別運営委員会を10月7日米子市「ANAクラウンプラザホテル米子」、同8日倉吉市「ホテルセントパレス倉吉」、同9日鳥取市「鳥取ワシントンホテルプラザ」と3会場にてそれぞれ開催した。

会議では令和7年度中央会共済事業の取り組み、上期業績報告、下期の対策や目標、中小企業経営に役立つ共済制度の活用

事例などの説明を行った。また今年度大樹生命保険株式会社山陰支社と連携協定を締結し、販路拡大やSDGs関連セミナーの開催、事業承継支援などに取り組んでいくことを紹介した。

委員からは、特定退職金共済制度の内容やハラスメント対策・従業員の労働災害等ビジネスJネクストの保険内容に関する質問があり、今後の共済推進に役立てていくことを述べるとともに、多くの意見交換が行われた。



運営委員会の様子

SDGs・CN普及推進セミナー開催



セミナーの様子

ンにおいて、SDGs・CN普及推進セミナーを開催した。

セミナーでは「組合や中小企業で取り組むカーボンニュートラル」をテーマとして、一般社団法人エネルギーマネジメント協会・代表理事・高田敏春氏を招聘し、基本的なカーボンニュートラルの内容、脱炭素の重点対策、省エネに取り組む意義について

の説明を受けるとともに、国の支援制度の内容、具体的な

これらの意見を受け、組合員企業の福利厚生の実現に向けて、組合主催の会議等で制度説明の機会をいただきながら、さらなる普及推進に努めていく。

(総務部 倉持)

活用事例、設備更新による具体的な効果等の示唆を受けた。また、セミナーと併せてパネル展示を実施し、ZEBに対応した新会館の概要を紹介した。

参加者からは、「SDGsやCNについて改めて考えるきっかけになった」「具体的な取り組みを検討していきたい」との意見があった。

今後、SDGs及びDXに取り組む中小企業組合等を対象に専門家派遣事業を実施し、組合のSDGsの取り組みを支援していく。(企画振興部 名越)

Aー革命時代のジブン改革のススメ

〈最終回〉



岩田中小企業診断士事務所

所長 岩田 広幸

いよいよ最終回

ー生成AI時代に見えてきたこと

いよいよ最終回となりました。過去2回は生成AIの登場の背景や使う上でのポイントについてお話ししてきました。今回は、まとめとして、私が生成AIを活用した事業者支援の現場で「見えてきたこと」をお伝えします。

ここに来て改めて自己紹介をしますと、私はDX(デジタルトランスフォーメーション)の専門家として、企業・団体向けのセミナーや個別相談、導入支援を行っています。特に2022年11月にChatGPT(GPT-3)が登場して以来、DX支援の現場は生成AI一色となり、

今年に入ってからAI関連の講演や実践支援の機会が一気に増えました。これまでに関わった事業者・機関は延べ300を超えます。

時間短縮Ⅱ思考の短縮(停止)になっていないか？

私自身の日々の活動では、実際の現場で得た成功事例をもとに、生成AIの体系的な使い方や活用法を整理してお伝えしています。しかし一方で、「生成AIは本当に人間のためになるのか？」と考えさせられる場面も増えてきました。それは、AIによって業務効率化が進み、新しい知見が得られるなど多くの利点がある反面、人が自ら考え、

理解し、判断する時間が減っているのではないか——そんな懸念を感じます。

あるとき、新規取引先の若手社員がAIで作成した資料を見せてくれました。見た目は整然として完璧でしたが、内容について少し掘り下げて質問すると答えられず、最終的には「持ち帰り」となりました。AIにより作業は早くなっても、理解や検証の時間を削れば本質的な効率化にはならない。これは象徴的な出来事でした。

AIの得意分野は、定型的な処理や文書生成です。しかし、技術が高速に進化する今、「定型のまま」の仕事はむしろ減っています。多くの業務が常に変化し、見直しや再設計が求められる。つまり、定型とは「人の手で点検し、更新し続けて初めて保たれるもの」なのです。生成AIによる完全な自動化は、しばらくは困難と思います。

Aー革命時代のジブン改革

これまでの3回を通じてのテ

ーマは「Aー革命時代のジブン改革のススメ」。

AIによって便利になった今こそ、人間は「考える力」や「創造する力」を磨く時期に来ています。AIに任せたい分、空いた時間を「自分の頭で考える時間」に変える——これこそ真の生産性向上であり、新しい価値を生み出す原点です。

生成AIは、私たちの思考を奪う存在ではなく、思考を深めるためのパートナーです。問われているのは、「AIの使い方」ではなく、「自分をどう進化させるか」。AIによって私たちは「考える余白」と「思考の時間」を手に入れました。

大切なのは、その時間を「思考の再訓練」にあてること。AIは魔法の杖ではなく、トレーニングマシン。使うほど、自分の頭も鍛えられる。AIに振り回されるのではなく、AIを使い倒すくらいの気持ちで、自分自身をアップデートしていきましょう。



「お客様との縁を大切に安心安全で 温かくふれあいのある商店街を目指して」

鳥取太平線通り商店街振興組合
理事長 石上 晋一 さん

鳥取太平線通り商店街振興組合は今年で創立50周年を迎えられました。この度は石上理事長に商店街を取り巻く環境や今後の取組みなどについて伺いました。

創立50周年おめでとうございます

石上 ありがとうございます。懐かしいけれど、どこか新しい鳥取太平線通り商店街は、今年創立50周年を迎えます。商店街とは、そこに暮らす人々にとつていつも安心できる場所でありたい。こんな想いから、お客様とのご縁を大切に安心安全で温かくふれあいのある商店街を目指してきました。商店街の活動は半世紀あまりですが、100年以上の老舗もあり、商店街の賑わいも100周年まで繋げていきたいと思っています。

創立50周年を振り返って

石上 昭和初期、太平線通りは鳥取駅と当時の国道を繋ぐ道として整備され、昭和50年、鳥取駅前の近代化事業が進む中、当地域の環境整備や組合員店舗の健全な発展、公共の福祉の増進を目的に組合を設立しました。

わかつり国体を控えた昭和60年、ようやく念願のアーケードが完成し、7月の記念式典は、打ち上げ花火の合図でテープカットが行われ、記念の大売り出しや猿まわしなど多くのお客様で賑わいました。

昨年は防犯カメラの設置や映画「ルート29」のパネル展をはじめ、鳥取駅前エリアの「みんないみつけ！」に参加するなど、近隣の商店街と連携し、街の賑わいづくりに取り組んでいます。

商店街を取り巻く環境について

石上 商店街を取り巻く環境はネット社会の伸展と少子高齢化に伴うニーズの多様化など大きく変化し、コロナ禍以降も多くの店舗で売上が大きく落ち込んでいます。

また、空き店舗の増加、組合員の高齢化が大きな課題となっており、一人でも多くの若手後継者に商店街イベントへの参加をお願いしています。

今後の取り組みについて

石上 本年度、鳥取県商店街振興組合連合会の「商店街活性化ビジョン調査研究事業」を活用して、若手を中心に商店街の課題や今後の方向性、具体的なアイデアを検討しています。また、電線の地中化による街の景観整備、災害時の安全確保や歩行空間の快適化・バリアフリー化など計画されており、居心地の良い空間を演出できるように商店街の再生にも取り組んでいきたいと思っています。

最後に

石上 これからもお客様に「太平線通り商店街に行つてよかった!」と言っていただけのように暮らしの中の商店街、まちづくりに真摯に取り組んで参ります。関係者皆様のご指導ご協力に感謝を申し上げますと共に、今後ともなお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(文責・北浦泰大)

創立50周年記念イベント

「器×日本酒×薬膳」
マリアージュ

鳥取太平線通り商店街振興組合(理事長・石上晋一氏)は、10月4日、「こ

とめや」において「民藝で愉しむ 地酒と秋の薬膳」をテーマに、鳥取が誇る「3つの宝」、個性豊かな「地酒」、心と体を整える「薬膳」、使うほどに魅力が深まる「民藝の器」を一度に愉しめる創立50周年の記念イベントを開催した。

石上理事長は「本日は秋の特別な一時を商店街で過ごしてもらいたい」と挨拶。2025 Miss SAKÉ鳥取代表の伊吹莉奈さんは、今年お薦める地酒の話、料理家の秋山美紀さんは、カラグを整える秋の薬膳、季節の食材を使った早生柿の白和や焼きイチジクの一品、粒マスタードの連根など、食材五行の話 exchangesながら民藝の器で提供し、参加者は記念イベントを楽しんだ。(組織支援部 北浦)



挨拶する石上理事長

最新プラントから学ぶ

品質管理と効率的な設備運用

鳥取県生コンクリート工業組合(理事長・山根正樹氏)は、9月18日、本会連携組織付加価値向上事業を活用して、大阪府大阪市「テクノ・ラボ大阪」の視察研修を行った。

近年、生コンクリート業界においてはインフラの老朽化対応や再開発の進展に伴い、高品質なコンクリートの安定供給がこれまで以上に重要視されている。また、労働時間規制の強化や人手不足の影響を受け、製造工程の効率化や品質管理の高度化が不可欠となっている状況を踏まえ、組合員の技術力と施設運営に関する

理解を深めるため、最新鋭設備を備えた実験専用プラントの視察を実施。担当者から建物の概要、組合の歴史、運営概要の説明や、組合事務所・研究棟などを実際に見学した。

参加者からは、「業界全体のレベル向上を目指す姿に感銘を受けた」「規模の違いはあるが学んだ手法を組合運営に活かしていきたい」といった声があり、今後の品質管理と効率的な設備運用に向け、有意義な視察研修となった。

(企画振興部 名越)



「テクノ・ラボ大阪」視察の様子

先進事例から学ぶ 自前オークション会場の事業拡大と活性化

鳥取県中古自動車販売商工組合青年

部会(部会長・濱真一氏)は、本会連携組織付加価値向上事業を活用して、熊本県阿蘇郡「JU熊本オークション会場」及び福岡県古賀市「JU福岡オークション会場」の視察研修を行った。

当組合では、オークション事業の更なる発展を目指し常設オークション会場の整備及びシステム導入を行い、開催回数の拡大や業務効率化を実現してきた。その後も事業は活発で高い成約率を維持しているが、業界全体では車

両供給不足や取引相場の高止まり、トランプ関税の影響が続くなどの課題があるなか、今年度に自前のオークション会場整備が完了したことを契機に、大規模会場で最先端のシステムや検査体制を運営する仕組みの視察及び組合員との意見交換を行った。

参加者からは、「直面する課題に対して具体的な改善策を得ることができた」「JUに加盟していることの意味や理由を再確認することができた」といった声があり、今後のオークション事業の活性化に向け、有意義な視察研修となった。

(企画振興部 名越)

次代へつなぐ組合会館の 利活用に向けて

協同組合鳥取卸センター(理事長・盛田眞理氏)は、保有する組合会館の耐震性能に関する不安や共同施設利用事業の低迷における組合員の新たなニーズを探るべく「次代へつなぐ組合会館の利活用」をテーマに委員会・分科会を設置し、延べ10回にわたり、組合会館の運用手法の検討や共同事業の見直しと再構築及び将来ビジョンの策定を行った。

当委員会・分科会では、組合役員を中心としつつ、次代を担う青年部の若手経営者や後継者、20〜40代の一般従事者からも意見を聴取り、若い世代に対し組合の必要性や帰属意識の醸成を図るとともに、これからのニーズの発掘を実施し、新たな世代が期待する組合像を探りながら将来ビジョンを形成した。

盛田理事長は「委員会の中で『おせっかい』という表現に集約されたが、各企業への気配りを基盤として主体的な支援に心掛け、必要に応じて先んじてサポートを行っていくことが組合に期待されている。様々な意見を取捨選択しつつ、『みんなが幸せになれる場』を提供していくことで、組合並びに企業の価値向上につなげていきたい」と抱負を語った。

(組織支援部 柳原)



委員会の様子

地域の新たな魅力を発見

「みんげいみつけ!」にぎわう

新鳥取駅前地区商店街振興組合（理事長・真嶋茂氏）、鳥取太平線通り商店街振興組合（理事長・石上晋一氏）、末広温泉町商店街振興組合（理事長・谷本暢正氏）は、鳥取駅前エリアの恒例イベント「みんげいみつけ!」を開催した。

5回目となる今回は、「民藝×地酒×料理」をテーマに、10月4日から19日まで多彩な催しが行われた。

期間中は、毎年恒例の「旧吉田医院特別公開」や「えきまえ屋台村」、「スタンプラリー」を開催し、多くの人で賑わったほか、鳥取太平線

通り商店街振興組合の創立50周年を記念し、「民藝で愉しむ地酒と秋の薬膳」と題した特別企画を実施。また、今回初参加となる末広温泉町商店街では、各店が民藝の器を用いてお酒と料理を提供する「民藝居酒屋」をオープンするなど、駅前エリアの商店街が一体となり、地域の文化と食の魅力を再発見する催しとなった。

新鳥取駅前地区商店街・真嶋理事長は「民藝を中心とした様々な催しを開催し、街を盛り上げていきますよう。」、鳥取太平線通り商

店街・石上理事長は「鳥取の顔として、地域の魅力を発信できるイベントにしていきたいです」さらに、末広温泉町商店街・谷本理事長は「お客様が地域資源を見直し、旧市活性化の一助になればと思います」と思いを語った。（総務部 石川）



みんげいみつけ!の様子

電気工事施工技術を発揮!

技能競技大会を開催!



競技大会の様子

鳥取県電気工事業工業組合（理事長・北野勝宏氏）は、10月10日、米子市「鳥取県産業技術センター機械素材研究所」において「第23回技能競技大会」を開催し、鳥取、倉吉、米子支部から選抜された電気工事技術者12人で電気配線工事の施工技術を競った。

今大会のテーマは「近年の住宅電気設備」とし、照明配線並びにパワーカーディショナーの配線工事など

150分の制限時間内で寸法配列に従って施工した。

競技の結果、次の方が表彰された。なお、入賞者は11月に島根県で開催される中国大会へ出場する。

上位入賞者は以下のとおり。

〔金賞〕 足立 友

・岡田電工(株)鳥取営業所

〔銀賞〕 富永燎牙・岡田電工(株)

白岩優人・シグマ電気(株)

〔銅賞〕 吉川優有・(株)エナテクス

川上弘将・(株)吉備総合電設

敬称略

（企画振興部 名越）

最新の生成AIを活用し 業務効率化を図る

鳥取県インテリア事業協同組合（理事長・杉内勝成氏）は、10月16日、倉吉市「倉吉シティホテル」にて、本会連携組織等DX対応支援事業を活用し、「業務効率化に役立つ生成AIの活用」をテーマに講習会を実施した。

講師には、岩田中小企業診断士事務所・所長・岩田広幸氏を招聘し、生成AIの概要をはじめ、chat GPTの進んだ使い方、その他最新の生成AIの活用方法のほか、インテリア業界で活用可能な使い方など幅広いトピックについて説明を受けた。

講習会のなかで参加者はchat GPTで出された返答を最新の生成AIで加工し表や画像に変換するなど実際に体験し、各社で業務効率化につながる活用方法について示唆を受けた。

参加者からは、「最新の生成AIを紹介してもらい、知らなかったこと、できることが多くあることが学べた」「たった1年で生成AIはどんどん進化しているうえ、業務に活かせることが多く大変勉強になった」などの意見があり、大変有意義な講習会となった。

（企画振興部 安陸）



講習会の様子

情報連絡員だより
9月

原材料等諸経費が依然として高水準で推移

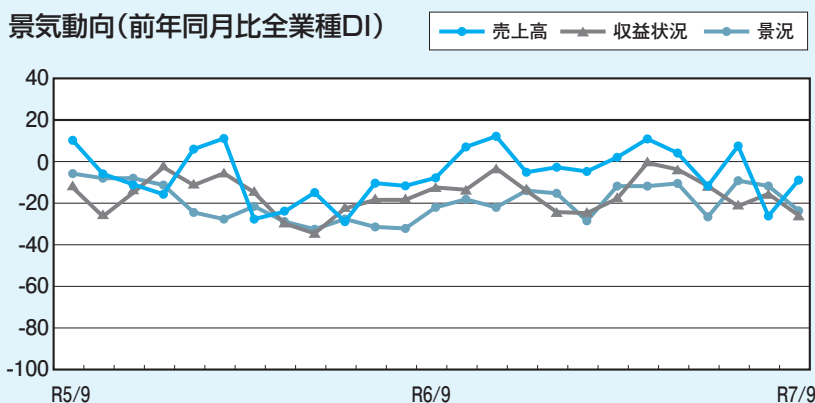
労務費負担の増加が見込まれ、経営環境の不透明感強まる

～景況DI値は、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス23.7～

全業種景況DI値は、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス23.7となった。製造業では、光熱費、原材料等諸経費の高止まりが継続しており収益状況は引き続き厳しい。一部業種では米国関税の影響によるさらなるコスト増加が懸念され、コスト管理に苦慮しているほか、慢性的な人材不足が続いていることが散見される。非製造業では、9月に入り気温も下がってきたことで観光関連では人流が増加し賑わいが見られたものの、長引く物価高騰による消費の停滞が続いており、前月比、前年同月比ともに収益状況が悪化するなど厳しい状況が続いている。県内景況は、原材料やエネルギーコスト、輸送費などの諸経費が依然として高水準で推移しており、収益圧迫が続いている。さらに、最低賃金改定に伴う労務費負担の増加が見込まれ、経営環境の不透明感は一段と強まるなど先行きは厳しい。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

景気動向(前年同月比全業種DI)



製造業

【食料品】

円安により輸入原料のさらなる値上げが懸念される。味噌・醤油の業界は商品値上げの影響もあり取扱数量が減少したものの、売上については前年並みで推移している。

【繊維・同製品】

来年の春・夏物の受注は前年在庫の売れ残りがあり小売段階で未消化のため発注量は減少している。

【家具・装飾品】

売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに減少となった。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量は前月比で横ばい、前年同月比で減少、製材品、合板の生産量は前月比で減少となった。製材品の需要は4、5月の落ち込みからの建築戸数の持ち直しにより回復を期待しているが、平年並みに届いていないのが現状。プレカット加工の稼働率は前月比60%、前年同月比は40%で推移した。

【紙・加工品】

円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。

【印刷】

『手話パフォーマンス甲子園』や世界陸上に向けたジャマイカチームの合宿による印刷物、看板などの依頼があった。『手話パフォーマンス甲子園』に出席された秋篠宮家の次女佳子さまが因州和紙を使用したイヤリングを着用されたことを機に、全国から和紙イヤリングの注文が入った。

【窯業・土石製品】

東部地区の9月の出荷量は、前月比約12.4%と大幅に増加したもの、災害復旧工事の収束から前年同月比約82%と減少となった。中部地区では、前月比約16.1%と大幅に増加、前年同月比約63%と減少した。西部地区では前月比約11.8%と増加したが、前年同月比では約77%と大幅に減少した。

【金属製品】

機械金属加工業者は、大手企業との

直接取引が可能な事業者が少なく、価格転嫁が難しい状況にあることから、コスト管理の困難さが如実に表れている。

【鉄骨加工】

県内物件の仕事量として中西部においては公共・民間工事の発注があり秋から来年の春先までの鉄骨需要が高まる企業も見受けられる。また、年末に向けた改修工事等も増えてきているが、受注単価は低く苦慮している。各社とも安価物件は慎重に対応している様子がうかがえる。

【金属熱処理】

9月の加工料収入は前月比、前年同月比とも若干の上昇となった。好調を維持しているのはエネルギー関係の部品で自動車、建機、産業機械は必ずしもコロナ前ほどの景気回復には至っていない。米関税の影響も出ている中小企業も見受けられ、県外の同業も景気は低迷したままである。

【電気機械器具】

米関税の影響により材料の納期遅延が発生しているうえ、材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。

非製造業

【卸売業】

青果関係の前月比では猛暑の影響が和らぎ、売上高、取扱数量とも大きく増加した。前年同月比では取扱数量、売上高が増加している。鮮魚関係の前月比では、猛暑が一段落し売上高、取扱数量が大幅に増加した。一方前年同

月比では、売上高、取扱数量とも増加している。引き続き、最低賃金の引き上げで打撃を受ける話が随所で聞かれる。事務機器関係では、大型案件の取り込みとWindowsのアップグレードに係る案件が増えたため売上が上昇した。仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。水産物関連では、巻き網は昨年豊漁であった真イワシの水揚げが低調に終わり、数量としては昨年を大きく下回る水揚げとなったが、ブリ・ハマチ類の豊漁もあり水揚げ金額は昨年を越えた。底引きは天候にも恵まれ昨年不漁であったハタハタ類は豊漁であり、スルメイカ等もまとまった水揚げとなった。紅ズワイ漁は昨年より1隻減船となり水揚げ量も2割近く減少し浜値段は高値で推移した。

【リサイクル原料】

取扱品物の発生数量は、若干の減少が見受けられる。価格に大きな影響は出していない。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、仕入価格の高騰が続く、価格転嫁も追いつかず収益を圧迫している。鳥取市の水産物小売では、9月の入込数は前月比で1社が改装による休業もあり減少、前年同月比は概ね横ばいで推移した。漁獲量の減少やあらゆる経費負担の増加に伴い魚の相場も高まってきている。倉吉市の商店街では、谷口ジロー原作『遙かな町へ』の映画製作がクランクアップし、撮影が行われていた約1ヵ月半、

絶えず人の動きがあり、活気に満ちた商店街にとってありがたい経済効果があった。10月は『福高祭2025』『遙かな町へ』と題して、秋のイベントを実施する。米子市の商店街では、商店街としてはフィールドワークシーズンに入り、学生の受け入れが増え、地元中学生向けの授業も実施し地域の子どもたちと関わる機会を持つことができた。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、9月に入り暑さによる出控えが少なくなり、観光客が戻りつつあった。団体バスに関しては他県からの万博関連の日帰り、1泊ツアーが強く、他の地域（鳥取県含む）へのツアーは集客が良くなり苦戦している。米子市のホテル・旅館ではインバウンドの旅行客の増加が見受けられる。恒常的に人材不足が続いている。三朝温泉では、土日や連休中は家族連れ、団体客などで賑わっていた。11月、12月に向けて海外からの団体ツアーの問い合わせが増えてきているが、繁忙期と重なり宿泊の増加にはつながっていない。羽合温泉では、9月の宿泊は前月比約40%減少、前年同月比約15%減少となった。飛び石連休の影響や香港便運休によりインバウンドが減り伸び悩んだ。

【自動車整備業】

9月の新車は普通車・軽自動車を含めて2,282台で前月比は48.6%の増加、前年同月比は1.0%の減少となった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて658台で前月比24.2%の増

加、前年同月比は1.9%の減少となった。継続検査は普通車・軽自動車を合わせて16,873台で前月比39.2%、前年同月比9.0%とともに増加となった。

【建設業】

8月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱は請負金額53億円、件数143件となった。年度累計は、請負金額482億円、件数823件。地区別では、西部、日野地区で増加、中部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった。設備投資は単月で前年同月比プラスに振れるも、3ヵ月平均はマイナスが続く、住宅投資は引き続き大幅なマイナス。公共投資は単月、年度累計ともにマイナス幅が広がる。

【運輸業】

9月の物流は、年間の第二繁忙期ということもあり、物流量としては増加であった。法改正（物流効率化法）の対応に迫られるなか、燃料価格や人件費及び車両本体価格、諸経費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。配送関連については、農産物関連において低下したものの、他配送については8月の稼働日数不足の反動もあり若干増加した。引き続きドライバー不足は深刻であり人材確保のため一層の経営努力が必要となっている。また、燃料価格も7月以降、原油価格、為替変動のため連続して増加した。物価高騰によるトラック及び関連機器の費用、人件費、燃料費など経営環境はますます厳しくなっている。

（情報連絡員 38名）

中小企業省力化投資補助金について

人手不足解消に効果のあるロボットやIoTなどの製品や設備・システムを導入するための経費を国が補助することにより、中小企業の省力化投資を促進し売上拡大や生産・業務プロセスの効率化を図るとともに、賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

カタログ注文型（随時申請受付中）

● 補助対象となる事業

中小企業などが省力化製品を対象商品のリスト（カタログ）から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2 以下	200万円	300万円
6～20名		500万円	750万円
21名以上		1,000万円	1,500万円

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

一般型（公募回制）

● 補助対象となる事業

中小企業などが省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率 ※	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	中小企業 1/2 小規模・再生 2/3	750万円	1,000万円
6～20名		1,500万円	2,000万円
21～50名		3,000万円	4,000万円
51～100名		5,000万円	6,500万円
101名以上		8,000万円	1億円

※補助金額1,500万円までは1/2もしくは2/3（小規模・再生事業者）、1,500万円を超える部分は1/3。

本補助金の詳細や対象製品のリスト（カタログ）、公募要領などはこちらから
中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで
あらかじめ上記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル **0570-099-660**

IP電話などからの
お問い合わせ **03-4335-7595**

カタログ注文型 省力化製品に関わる工業会・製造事業者・販売事業者のみなさま

カタログ登録
サポートセンター **03-6746-1530**
でご相談受付中!

● 受付時間：9:30～17:30／月曜～金曜（土・日・祝日除く） ※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がらない場合は、しばらくたってからおかけ直してください。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

組合 Q&A

定款変更の効力発生時期について



Q

中協法第51条第2項において「定款の変更は、行政庁の認可を受けなければその効力を生じない」と規定されているが、変更した場合、その効力の発生時期は、認可したときであるか、あるいは組合が変更決議をしたときに遡及するか？

A

定款変更の効力は、行政庁が認可をしたときに発生し、組合が定款変更を議決したときに遡及しないものと解する。なお、効力発生時期をさらに厳密に言えば、定款変更の認可は、行政処分であるから、行政庁において決議を終った日又は認可書を作成した日にその効力が発生するのではなく、認可があったことを組合が知り得たとき、すなわち認可書が組合に到着したときから効力が発生することとなる。

県内事業者の経営力向上に向けた 価格適正化と賃上げ相談窓口を開設！

物価高騰や人件費高騰などによる厳しい経営環境でも、価格適正化や賃上げを実現するため、価格転嫁や生産性向上、業務改善等の具体的な方法を企業経営の専門家に相談できる窓口を開設します。

相談受付

●受付期間 令和7年3月3日(月)～令和8年2月27日(金)

●受付機関 鳥取県中小企業団体中央会

※本事業は鳥取県からの受託事業として実施します。

●受付先 電話 0857-26-6671

メール honbu@chuokai-tottori.or.jp

※電話による受付は、平日の午前9時～午後5時です。(メールは随時)

相談
無料

よなごしんきは、毎日のビジネスシーンを応援いたします



【VISAゴールド法人】



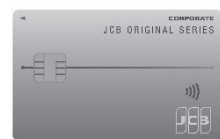
【VISAクラシック法人】



【JCBプラチナ法人】



【JCBゴールド法人】



【JCBクラシック法人】

貴社のビジネスを強力にサポートする「法人カード」導入のメリット

- 出張旅費や接待交際費等の社用経費に対する精算事務を簡素化・省略化することにより、経理伝票の減少や支払先を削減する事ができます。
- カードご利用からお支払いまでに23日～56日の猶予期間があるので効率的な資金運用が可能になり、財務面での大きなメリットが期待できます。

カードのお申込みは米子信用金庫本支店の窓口で受付けております



鳥取県の“未来を担う若者”を支援

鳥取県未来人材育成基金 寄付金募集

平成27年度から、県内の産業界と協力して鳥取県未来人材育成基金を設置し、特に担い手の確保が難しい業種に就職する若者への奨学金返済支援により、8年間で約900人の県内就職を実現し、県内人材の確保に大きな成果をえています。

しかし、現在の人口減少や若者の転出超過の状況を踏まえ、令和8年4月以降就職する方に対し、**奨学金返還支援の対象を全業種に拡充**することとしました。

この財源は、県と産業界の寄付により成り立っています。鳥取県の未来を担う若者の支援(寄付)をぜひお願いします。

※国や地方公共団体に対する寄附金は、その支払った全額が損金に算入されます。

鳥取県未来人材奨学金支援事業(助成金)の内容

認定
対象者

鳥取県内企業への就職を視野に入れる

- ・大学(大学院)、短大・専門学校、高専(4年生以上)の方
- ・既卒者(35歳未満)の方

対象
就職先
(業種)

【特定業種】

製造業、IT企業、薬剤師の職域、建設業、建設コンサルタント業、旅館ホテル業、民間の保育士・幼稚園教諭の職域、農林水産業、理容師・美容師の職域、歯科技工士の職域、獣医師の職域、自動車整備士の職域、自動車小売業、私立の中学校・高校の教員の職域

※ 獣医師の職域、自動車整備士の職域、自動車小売業、私立の中学校・高校の教員の職域については、令和8年4月以降の就職者が対象です

【一般業種】

特定業種以外の業種(公務員を除く)

※ 令和8年4月以降の就職者が対象です

助成金額

業 種	助成率		助成額(最大)	
	無利子	有利子	無利子	有利子
特定業種	1/2	1/4	216万円	108万円
一般業種	1/4	1/8	108万円	54万円

【事業に関するお問い合わせ先】

鳥取県政策統轄総局 政策統轄課 TEL0857-26-7648 Email:seisaku-toukatsu@pref.tottori.lg.jp

地元で事業を営む「あなた」に寄り添う 鳥取銀行のコンサルティング



経営に関する
お悩み
解決します!

戦略策定
補助金申請

販路支援

事業承継
M&A

ぜひ、鳥取銀行にご相談ください

ご相談はお近くの鳥取銀行 窓口まで



えっ! 銀行に
そんなお願い
できるんだ

TOTTORI
BANK



青い島の銀行です。

鳥取銀行

中央会創立70周年記念・中央会共済推進ゴルフコンペ結果

中央会創立70周年を記念し、中央会共済制度の普及・推進を図るため、10月4日に21組の参加を得てゴルフコンペを開催しました。その結果をご報告いたします。

〈ダブルリペア方式〉

優勝 田中 雅士 様

準優勝 山根 壮 様

おめでとうございます！



お忙しい中参加していただきありがとうございました。

次回も来年秋頃の開催を予定しています。さらに多数のご参加をお待ちしております。

中央会・組合の11月行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
		第3回正副会長支部長会議 11:20 中央会
5	水	中央会創立70周年記念講演会・式典・祝賀会 14:00～ ホテルニューオータニ鳥取
		組合BCP支援事業合同訓練 12:20 (協)鳥取鉄工センター 他
10	月	中央会中間監査会 10:30 中央会
11	火	第6回組合等設立・新規創業等支援事業 (対象:鳥取県芝生産協同組合) 13:30 組合
12	水	第77回中小企業団体全国大会 13:00 広島県立総合体育館
14	金	鳥取女性中央会視察研修 10:00 鳥取県立美術館
17	月	鳥取県中小企業青年中央会 親睦事業 18:30 上灘コミュニティセンター
		第4回正副会長支部長会議 13:00 ホテルセントパレス倉吉
25	火	第2回理事会 14:00 ホテルセントパレス倉吉
27	木	事業承継円滑化支援事業ワークショップ 13:00 鳥取市文化センター 28日まで
30	日	東部青年中央会オープン例会 14:00 とりぎん文化会館

中央会共済制度 連携先【大樹生命保険(株)】

新スタッフご紹介

本会では、中小企業の継続的・安定的発展並びに経営者・役員・従業員とその家族の安定した将来を保障するための様々な共済制度を展開しています。

この度、人事異動等により連携先である大樹生命保険(株)山陰支社のスタッフが変更されましたので、ご紹介いたします。



山陰支社
鳥取営業部 主幹
小林 竜也

11月の倉吉出張所相談日のお知らせ

4日(火) 11日(火)
18日(火) 25日(火)

編集後記

朝晩の空気がすっかり冷たくなってきました。街を歩いていると、コートやニットを着ている人が増え、「もう秋も深まってきたなあ」と感じます。そんな中、私はといえばまだ半袖で過ごしている日が多く、自分でもそろそろ衣替えの時期かなと思いつつ、ついそのままだまかけてしまっています。どうやら暑がりの性格はなかなか変わらないようです。

先日、三大駅伝のひとつである出雲駅伝が行われました。出雲駅伝が終わると、「次はいよいよ箱根駅伝か」と思うのが毎年の恒例です。お正月に家でゆっくりと駅伝を観戦するのが私の小さな楽しみで、その映像を思い浮かべると、冬の訪れを実感します。今年も残りわずかとなりましたので、体調管理には十分お気をつけください。(ナギシ)

今月の表紙

「鳥取藩主池田家墓所」〈鳥取市〉

初代鳥取藩主池田光仲を埋葬したことを起源とし、その後の歴代藩主と藩主夫人や同族78基の墓碑が整然と立ち並んでいます。また、藩主以外の墓には宝塔形の墓碑や江戸時代に一般化した石碑墓標等が見られ、江戸時代の大名家の葬制および墓制の階層制を知ることが出来る貴重な資料として国の史跡に指定されています。

豊かな四季に恵まれた墓所の静寂の中、春には桜が咲き誇り、秋には美しい紅葉の名所として、多くの人びとが墓所を訪れます。

中央会共済制度で リスクマネジメントを 万全なものとしませんか。

① 特定退職金共済制度

人材の確保・定着のキメ手、
従業員の退職金制度

② 経営者年金共済制度

経営者および家族従業員の退職金制度

③ オナーズプラン（団体扱生命保険）

事業保全資金の確保と
経営者の退職慰労金準備のために

④ パートナースプラン（団体扱生命保険）

従業員の皆さまのための多様な保障準備に

⑤ ビジネスJネクスト（業務災害補償保険）

企業を業務上の災害リスクから守る

⑥ 集団扱 自動車保険・火災保険

事業主および従業員のための自動車保険・火災保険

⑦ 総合賠償責任保険制度

企業を賠償責任リスクから守る



お問い合わせ

鳥取県中小企業団体中央会

TEL(0857)26-6671

中小企業とつとめ 令和7年11月1日

発行人 鳥取県中小企業団体中央会

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96

TEL(0857)26-6671(代)・FAX(0857)27-1922

倉吉出張所

〒682-0887 倉吉市明治町(倉吉商工会議所内)

米子支所

〒683-0823 米子市加茂町(米子商工会議所5階)
TEL(0859)34-2105・FAX(0859)34-6441

URL

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>
E-mail honbu@chuokai-tottori.or.jp

毎月1回1日発行 中央印刷株式会社 印行

購読料 1部 70円 TEL(0857)53-2221
(会員の購読料は会費に含まれています)